

10月の伊勢まるごと博物館

●内宮エリア（最寄り館：お伊勢まいり資料館・伊勢古市参宮街道資料館）

伊藤小坡美術館 ☎0596-22-2554		伊藤小坡は明治10年（1877）に猿田彦神社宮司である宇治土公貞幹の長女として生まれ、18歳で伊勢の磯部百鱗に入門。21歳で京都に出て森川曾文・谷口香嶠に師事し、京都画壇の中心として活躍した女流日本画家。彼女の作品を中心に展示しています。	
休館日	6月 20日 7月 21日 13月 27日 14日 28日		
開館時間	9:30～16:00		
入館料	一般	300円	
	高校・大学生	200円	
	小・中学生	100円	

●内宮エリア（最寄り館：伊藤小坡美術館・伊勢古市参宮街道資料館）

お伊勢まいり資料館 ☎0596-24-5353		当館の展示は、江戸時代の絵図や錦絵に登場する伊勢参りの場面をもとに立体的なパノラマで再現したもので、約3,000体にも及ぶ和紙人形がお伊勢さんに押し寄せる様子は圧巻です。 当館は浜幸パール内にありますので、ぜひお立ち寄り下さい。	
休館日	7月 28日 14日 21日		
開館時間	9:00～17:00		
入館料	大人	300円	
	65歳以上	100円	
	小・中学生	100円	

●倉田山エリア（最寄り館：神道博物館・神宮徴古館農業館・神宮美術館・伊藤小坡美術館）

伊勢古市参宮街道資料館 ☎0596-22-8410		●第28回特別企画展 錦絵「伊勢音頭恋寝刃」と看板「間の山お杉お玉」展 10/7(火)～11/3(日) 浮世絵師豊原国周や歌川豊国が描いた「伊勢音頭恋寝刃」の錦絵や、「間の山お杉お玉」の興行部屋で実際に使用された大型看板などを展示します。	
休館日	6月 27日 14日 20日		
開館時間	9:00～16:30		
入館料	無料		

●倉田山エリア（最寄り館：神宮徴古館農業館・神宮美術館・伊勢古市参宮街道資料館）

皇學館大学佐川記念神道博物館 ☎0596-22-6471		日本の歴史・文化の源泉である神道及び神社の紹介を通じ、歴史・伝統・信仰・思想等を正しく伝えることを目的とした皇學館大学附属の博物館です。 時代による和歌の姿の変遷を見つめた企画展「和歌の諸相－時代による変遷を追って－」を開催いたします（10/6(日)～11/1(土)）。	
休館日	5日 17日 27日		
開館時間	平日 9:30～16:30 土曜 9:30～12:30		
入館料	無料	ホームページ・Instagramにて情報発信中です。是非ご覧ください。  	

10月の伊勢まるごと博物館

●倉田山エリア（最寄り館：神宮美術館・神道博物館・伊勢古市参宮街道資料館）

神宮徴古館農業館

☎0596-22-1700

休館日	2㊟ 8㊟ 9㊟ 16㊟ 23㊟ 30㊟
入館時間	9:00～16:00 (観覧は16:30まで)
入館料	大人 500円 小・中学生 100円

●特別展 「最後の公卿勅使－明治天皇御奉納の御太刀公開－」 10/10㊟～12/17㊟
伊勢神宮には、時の天皇や皇室の方々が天照大御神に奉った刀剣が大切に保管されています。今回の特別展では、明治天皇が新たな国家の方針を天照大御神に奉告するとともに、国内外の安穏と平和を祈念して御奉納した御太刀を紹介します。なお御太刀は本年までに刀剣研磨による保存措置を終え、このたび18年ぶりの全面公開となります。また神宮の歴史上、最後の発遣となった公卿勅使について、当時の神宮の動向を記録する神宮神主の日記などを展示し、発遣に至った経緯とその歴史的意義を探ります。

●倉田山エリア(最寄り館：神宮徴古館農業館・神道博物館・伊勢古市参宮街道資料館)

式年遷宮記念神宮美術館

☎0596-22-5533

休館日	2㊟ 9㊟ 16㊟ 23㊟ 30㊟
入館時間	9:00～16:00 (観覧は16:30まで)
入館料	大人 500円 小・中学生 100円

●特集展示 「令和6年度奉納神宮式年遷宮奉賛美術品展」 開催中～11/26㊟
神宮式年遷宮を奉賛して、令和六年度中に奉納された美術・工芸作品を公開する。日本画・書・彫刻など。

●外宮エリア（最寄り館：神宮徴古館農業館・神宮美術館・神道博物館）

式年遷宮記念せんぐう館

☎0596-22-6263

休館日	14㊟ 28㊟
入館時間	9:00～16:00 (観覧は16:30まで)
入館料	大人 300円 小・中学生 100円

およそ1300年前から続く、我が国最大のお祭りである「式年遷宮」に関する資料を展示している博物館です。式年遷宮における社殿の建築や、神様に捧げる御装束神宝の調製工程の技を「実物資料」で紹介しています。
外宮正殿原寸大模型前では毎日、式年遷宮のことや神宮のことを解説する「展示ガイド」を開催しています。

●勢田川エリア（最寄り館：神宮徴古館農業館・神宮美術館・神道博物館）

伊勢河崎商人館

☎0596-22-4810

休館日	7㊟ 14㊟ 21㊟ 28㊟
開館時間	9:30～17:00
入館料	大人 350円 高校・大学生 200円 小・中学生 100円

●商人蔵ミニギャラリー
「あいこっとなの会ぷらす展」
●お芝居カフェ
10/5㊟ 14:00～15:30
●河崎・絵本の会
10/10㊟ 11:00～11:45
●KURA de 恋するまち歩き
10/19㊟ 13:30～16:30
●河崎商人市&伊勢のだいどこ市
10/26㊟ 10:00～15:00

10月の伊勢まるごと博物館

●宮川エリア（最寄り館：山田奉行所記念館・伊勢河崎商人館）

尾崎号堂記念館 ☎0596-22-3198		憲政の神様と呼ばれた尾崎行雄の功績や遺品などを紹介・展示している資料館です。 館内は尾崎の理念を紹介したスペース、尾崎の生涯を時系列でたどるエリア、尾崎に関する書籍や資料が整えられたコーナーなどがあり、尾崎の遺品だけでなく、人となりや功績がわかりやすく展示されています。 建物は緑豊かな庭園の中にあり、四季折々の草花や鳥のさえずりが迎えてくれます。
休館日	6月㊥ 14㊥ 20㊥ 27㊥	
開館時間	9:00～16:30	
入館料	大人 100 円	
	高校生以下は無料	

●宮川エリア（最寄り館：尾崎号堂記念館・伊勢河崎商人館）

山田奉行所記念館 ☎0596-36-8833		●月例会 10/9㊥（毎月第2木曜） ①13時の部②14時の部 ※各回とも定員15名 ミニ講座：「お香をきこう」 （講師：山澤美恵子さん） 参加費：500円 申込：記念館に電話（36-8833）
休館日	7㊥ 14㊥ 21㊥ 28㊥	
開館時間	9:00～16:00	
入館料	無料（当分の間）	

●二見エリア（最寄り館：伊勢シーパラダイス・マコンデ美術館）

賓日館（ひんじつかん） ☎0596-43-2003		●小寺康子「古布と一閑張バッグ」展 開催中～10/25㊥ ●そこに、西行がいた!! 2025(西行展) 開催中～10/26㊥ ※10/26㊥開始予定「西行と月」公演は都合により中止(無期限延期)となりました ●ちばさんの絵本と音楽のおはなし会 10/18㊥ 10:30～11:30 ●賓日館能楽五人囃子(能の解説と公演) 10/24㊥ 17:30～18:50 10/25㊥ 13:00～14:30 ●皇風煎茶禮式体験会 10/26㊥ 9:30～16:00 ●第25回桂文我落語会（席料2,000円） 10/28㊥ 13:00～16:00（12:30開場） ●アトリエこがまき作品展 10/30㊥～11/3㊥
休館日	7㊥ 14㊥ 21㊥ 28㊥	
開館時間	9:00～17:00 （最終入館 16:30）	
入館料	大人 310 円 ※20名以上の団体の場合 240 円	
	高校生以下 150 円 ※20名以上の団体の場合 120 円	

10月の伊勢まるごと博物館

●二見エリア（最寄り館：資日館・マコンデ美術館）

伊勢シーパラダイス〔水族館〕

☎0596-42-1760

休館日	なし ※12月にメンテナンス休業有
開館時間	9:30～17:00 (最終入館 16:30) ※変動有り、詳細はHP
入館料	大人 2,400～2,800 円 (料金カレンダーはHP)
	小中学生 1,200 円
	幼児(4才以上) 600 円

【距離感ゼロの衝撃が笑顔に！】

日本一動物との距離感が近いことをコンセプトにした水族館。超絶かわいい「ツメナシカワウソ」との握手をはじめ、「セイウチ」「アザラシ」とのふれあい体験や、柵なしで見ることができる「アシカ」「トド」達のダイナミックなイベントを毎日開催♪

イベントの詳しい内容やその他情報はHPをご確認ください。

※2025年7月1日より左記料金へ変更となります。
料金詳細は公式HPをご確認ください。

●二見エリア（最寄り館：伊勢シーパラダイス・資日館）

マコンデ美術館

☎0596-42-1192

休館日	7 ^火 14 ^火 20 ^月 ～24 ^金 28 ^火
開館時間	9:00～17:00 (最終入館 16:30)
入館料	一般 1,000 円
	高校生 800 円
	小・中学生 600 円

●仮面と神像 ―アフリカ信仰の造形美―
開催中～10/19⑨

アフリカ大陸は、多様な民族文化が息づく場所であり、それぞれの文化に根ざした信仰が、独特の仮面と神像を生み出してきました。本展では、アフリカの信仰と美が融合した仮面と神像を紹介します。

アフリカの多様な信仰心と独特の発想から創造された仮面と神像は、儀式や祭礼の場の役割だけでなく、美術的な要素も兼ね備え、造形美を追求した作品としても評価されています。

アフリカの様々な民族が用いる多様な仮面や神像に込められた意味や物語を紐解きながら、アフリカの人々の精神世界と、そこから生まれた造形美の奥深さを体感してください。